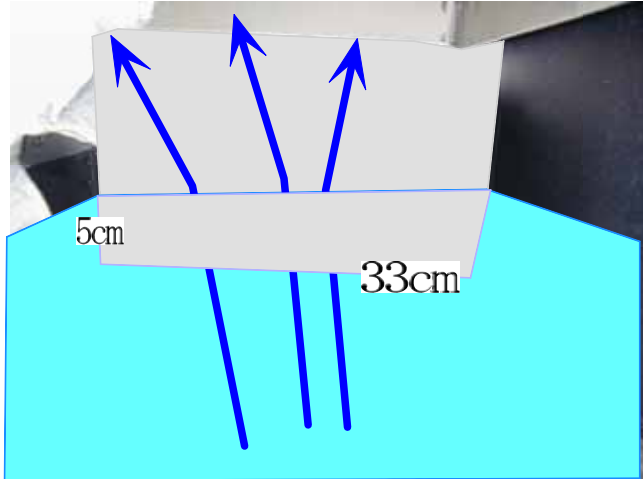


# 樋増設

平成15年8月11日

施工：桜田板金工業所

グレー色の吹き込み防止板に矢印の様に上屋根の壁との雨水が当りはね上がって壁際に溢れたと思われます。  
吹き込み防止板下の空間は $3\text{c} \times 33\text{cm} = 165\text{cm}^2$ 分で150mmのパイプ1本に匹敵します。通常では十分排水出来るはずですが。

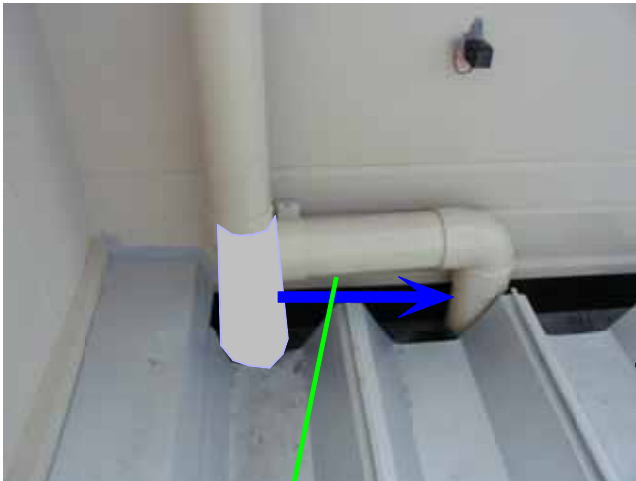


下の写真は吹き込み防止板を上にくくり上げ排水容量を倍以上にしました。



上の写真の様に落し口に向いていた排水方向を下に向け、現在の位置から水上側に90cm移動しました。  
これにより、排水が勢い良く落し口に向かって行かないようになりました。

上部屋根の雨水をあと1箇所落し、雨水を分散して箱樋に入るようにしています。



庇屋根の箱樋はだいぶ大きくしてありますので、落し口さえ飲みきれば溢れることはありません。